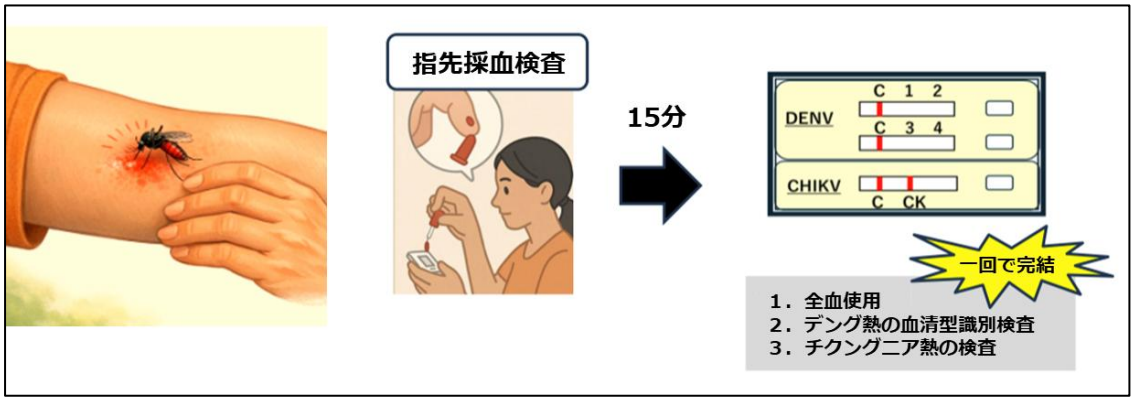
株式会社ビズジーン、宮崎大学合同プレスリリース

グローバルヘルス技術振興基金採択のお知らせ
（Global Health Innovative Technology Fund ; GHIT Fund）

令和８年１０月２９日

宮崎大学が参画する「Rapid Whole-Blood Multiplex Antigen Test for Serotype-Specific Dengue and Chikungunya （デング熱血清型別およびチクングニア熱の迅速全血多重抗原検査法開発プロジェクト」が、このたび GHIT Fund に採択されました。GHIT Fund は、マラリア、結核、顧みられない熱帯病（NTDs）などの感染症と闘うための新薬開発に投資（助成）を行う日本政府、製薬企業、ゲイツ財団等による日本発の官民パートナーシップです。

本プロジェクトは、デングウイルス、チクングニアウイルスによる感染を単一の血液サンプルから同時に迅速判定する革新的な抗原迅速診断キットを開発するものです。特にデングウイルスの検出には遺伝子型の特定を可能とする診断キットです。発症早期（1～5 日以内）における血中ウイルス抗原を高感度で検出し、臨床現場における鑑別診断の精度向上と迅速な対応を可能にします。



本研究には 株式会社ビズジーン（日本）を中心に、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（副センター長　岡林環樹教授）および医学部(医学部長　盛武浩教授、森下和広客員教授)が協力し、タイ・マヒドン大学熱帯医学部、ペルー・サンマルコス大学獣医学部の参画のもと、アジアおよび南米の臨床現場と連携した国際共同研究として実施されます。

宮崎大学は、本プロジェクトにおいて単クローン抗体の特異性評価、臨床検体の解析、さらにはタイとペルーにおける臨床試験調整など重要な役割を担います。本事業は新興・再興感染症対策を強化し、グローバルヘルス領域に大きく貢献することが期待されます。

【プロジェクト概要】
・事業名：Rapid Whole-Blood Multiplex Antigen Test for Serotype-Specific Dengue and Chikungunya　(デング熱血清型別およびチクングニア熱の迅速全血多重抗原検査法開発プロジェクト　(R8 年 6 月-R10 年 6 月)
・支援機関：GHIT Fund
・開発内容：デングウイルス抗原の検出及び血清型鑑別、チクングニアウイルス抗原の検出を可能とする蚊媒介性感染症迅速診断キットの開発
・助成額：約 78,000,000 円
・参画機関：株式会社ビズジーン、宮崎大学（日本）、マヒドン大学（タイ）、サンマルコス大学（ペルー）、生物医学・環境技術研究センター CITBM（ペルー）

【グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）について】

公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）は、日本政府（外務省、厚生労働省）、製薬企業などの民間企業、ゲイツ財団、ウェルカム、国連開発計画が参画する国際的な官民パートナーシップです。世界の最貧困層の健康を脅かすマラリア、結核、顧みられない熱帯病（NTDs）などの感染症と闘うための新薬開発への投資を行っています。治療薬、ワクチン、診断薬を開発するために、GHIT Fund は日本の製薬企業、大学、研究機関の製品開発への参画と、海外の機関との連携を促進しています。詳しくは、https://www.ghitfund.org/jp をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社ビズジーン
開發　邦宏 TEL：06-4864-4566, ask@visgene.com

国立大学法人宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター
岡林　環樹　TEL：0985-58-7575/E-mail：okbys81@miyazaki-u.ac.jp

【発信元】
国立大学法人宮崎大学企画総務部総務広報課
TEL：0985-58-7114/E-mail：kouhou@miyazaki-u.ac.jp